

体育倉庫で秘密のレスバトル！校内実力トップJK vs 保健体育女教師

■01 プロローグ (伊藤)

4月。
何とか3年生に進級できた安心感から、春休み中、アタシは友達とレスバトル三昧だった。

あぁん♡ほら♡気持ちいいでしょ♡
ほら♡ほら♡

(友達)
やん♡あん♡きもちいい♡
あん♡あぁん♡

(伊藤)
もっと、可愛い声で啼きなさいよ！ほら♡ほら♡

(友達)
あん！ミク、だめ！そこ、だめなの！あ、あぁん！

(伊藤)
女の子同士のえっちは気持ち良くて最高だ。体は柔らかいし、良い香りだし、みんな可愛いし。お互いの弱いところが分かってるから、絶対に気持ち良くさせられる。

(友達)
だ、め…！あぁん！やば…イっちゃう…！

(伊藤)
やぁん♡もうイきそうなの？
かわいい…♡はぁ♡はぁ♡

(友達)
くぅん！あん！あぁん！あぁん！

(伊藤)

ほら、イケ♡イケイケイケえっ♡イっちゃえええ♡

(友達)

あ、ああん！あん！ああん！だめ、だめだめ！イくイく
イっく…あ…あぁあぁ～～！！！！
ああん！ああん！ああん！ああん！
はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…

(伊藤)

あっははぁ♡いった♡いったぁ♡
はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…♡

そして、アタシは強い。学校で一番強いレズ。
レズバトルで勝つのはいつだってアタシ。可愛い女の子
たちがアタシのテクに屈していき堕ちていくのを見る度
に、アタシが最強の女だっていうのが認識できて、最高
に気持ちいい。

やっぱり女子校に入って良かった。女の子同士ならどんな
にやってもリスクゼロだし、親にも、夜通し遊んでるって
言い訳で通るしね。

さて、問題はアタシの成績。
毎日のようにやりまくってるアタシは勉強なんか二の次三
の次…授業もサボって空き教室に隠れ、えろいことをしま
くっていた結果、赤点だらけに。

生徒指導部であり、担任の北川先生は、学校一厳しい先
生で、みんなから恐れられている。3学期最終日にアタ
シに通信簿を渡しながらこう言った。

(北川)

補習と追試の結果、一応進級は認めます。が、このまま
の成績だと卒業はできないわね。3年生になったら、ま
ずは授業に毎回出席すること。正当な理由なく欠席の場
合は同じ時間の補習を課します。

(伊藤)

はー？れずえっちは正当な理由だっけの。
その後もなんか言われたけどイライラしてて聞いてなかった。とりあえずハイハイ言って終了。
友達もみんな同じ感じのことを言われてたが、レズ友のミナは何故か褒められてた。
そう言えば最近ミナとやってないな。

ミナから話を聞くと、めっちゃそそられる、とある噂を教えた。

『北川先生のレズテクがヤバい。』ってね。

春休み中のある日。

せ～んせ！お仕事お疲れ様です♪

(北川)

ん？伊藤さん。どうしたの？春休み中に。部活でも始めた？

(伊藤)

違いますよお。
北川先生ってえ、なんか良くない噂聞いちゃったんですけどお、本当ですかあ？

(北川)

何のことです？

(伊藤)

惚けないでくださいよ。知ってるんですから！
…先生が、他の先生たちや生徒とお、えっちしくってるってこと！

(北川)

…っ

(伊藤)

へえ〜♡その反応♡ガチなんじゃん♡あっははは♡
いいんですかぁ？真面目な生徒指導の先生がぁ、そんな
不純なことして！

(北川)

っふふ。それで？
言いたいことはそれだけかしら？

(伊藤)

そんな訳ないでしょ♡
アタシと勝負してください。レズえっちバトルで♡
勝ったら、この噂…みんなにバラさないであげますよ？
あはっ♡

(北川)

貴女までそんなこと言い始めて…
全く、この学校の風紀はどうなってるの？

(伊藤)

ぷふっw先生だって人のこと言えませんけどw
んで、アタシが勝ったら成績あげてください。
負けたら…まぁ、勉強くらい頑張りますよ♡

(北川)

ふん。そう。いいわ、受けてあげましょう。

(北川)

生徒が勉強する気になってくれるのなら、
それくらいはね…♡

(伊藤)

よっしゃ！
いっつも怖い北川先生をめちゃくちゃにイキ堕とせるなん
て…♡

楽しみすぎる～♡あははっ♡

(北川)

ふふっ♡まあ精々頑張ってみることね…

(伊藤)

で、いつにします？

アタシ的には～…今すぐにでも

襲いかかってやっても良いんですけど…♡

(北川)

今は流石にね…仕事も残ってるし…。

では…

明日の17時…体育倉庫で…♡待ってるわ…♡

(伊藤)

こうしてアタシは北川先生とレズバトルをすることになった。

勝てば成績アップ。ちょろ～w

ま、教師なんてこんなもん。

ちょっと勉強するフリすれば大体のことは認めてもらえるんだから。

大人とやるのは初めてだけど、

アタシはレズえっちで負けたことないんだから、余裕でしょ。

さてと…今日は気合い入れてオナって…寝よっかな♡

■1-2.伊藤未来のオナニーボイス

(伊藤)

明日の北川先生とのレズバトルは夕方5時…

っていうことは昼ぐらいまでは寝てられるな…

今日はイメトレも兼ねて…

この前のナツキとのレズバトルの動画で…スるか～…♡

ふー、ふー…ふー、ふー…

ナツキ、いつも声低いのに…
いきそうになってくると…声高くなってるのがあ…
えろいんだよねえ♡

ふー、ふー…ふー、ふー…

はあ♡今の声、やっぱ♡
これこれ…♡
女の子をだんだん服従させていく感じ…
ぞくぞくしちゃうな～♡

ふー、ふー♡ ふー、ふー♡

ああ♡だんだん良くなってきた…♡

ふー♡ ふー♡ ふー♡ ふー♡

はあ♡もうちょっと…いきそ…いきそ…♡
いく…いくいくいくいく…♡
くっくっく～…♡

はあ…はあ♡
はあ…はあ♡

はああ…♡最高…♡
ナツキのいき声、良すぎるんだよなあ…♡

ふう♡
次はあ…あ、冬休みのアヤノとミナのやつあった♡

これ二人でバトってたけど…なかなかイかなくて
結局アタシがイかせたんだよね…見よって♡

…あ”ー…♡
外明るくなってきた…流石に寝るかあ…

すー、すー…すー、すー…

北川先生、どんな声で喘ぐんだろ…♡
いっつも偉そうにしてるけど、
アタシのテクでめちゃくちゃにイクんだろうな～…♡
楽しみだなー…♡

すー、すー…すー…すー…

■1-3.北川結衣のレズバトル心得 (北川)

この学校で、なぜか生徒から
レズバトルの挑戦をよく受ける。

血気盛んな女子校の学生たちは、
厳しい生徒指導の女教師を
一泡吹かせてやりたいと思うのだろうか。

だけど、これまで受けた挑戦は全部圧勝してきた。
生徒たちの熱量や体力は認めるけど、
経験とテクニックじゃ到底私には及ばない。

そんな女に私は絶対に負けない。

業務中はジャージで過ごしているけれど、
レズバトルの日はスーツを着ると決めている。

理由は3つ。

1つ目。他の職員に出張や会議があると理由づけ、自然
に抜け出せるため。

2つ目。ピシっとした服装で自らの気持ちを高め、行為
に集中するため。

3つ目。生徒に大人の強さを分からせるため。

…伊藤さんが校内で高い実力を持っていることは知っている。
る。

でも、教師として。大人の女性として。
レズえっちで女に敗北することは許されない。

私は、生徒からの挑戦に全力で受けてたつ。

（他職員）

北川先生、今日スーッってことは、また出張ですか？

（北川）

ええ。今日は17時から…『特別授業』です。ふふっ♡

■02 タイトルコール

■03 キス vs 手マン「先生の、特別授業…始めるわよ…♡」

（伊藤）

校舎からだいぶ離れた、校庭の端っこにぽつんとある体育倉庫。

17時。運動部や、他の先生もいない学校。

桜の花びらがちらちらと舞う中、夕方の校庭を、アタシは一人、横切っていく。

あの中で、今日アタシは、勝負をする。

北川先生と、女同士…本気のレズえっち勝負をね。

夕日の差し込む体育倉庫の中は、

ボールや跳び箱など体育備品が押し込められていて、木や皮、錆びた鉄などの混ざり合った、特有の匂いを発していた。

倉庫の真ん中は少し開いたスペースがあり、

そこにはマットが敷かれている。

そして、その後ろに、腕を組んだ大人の女性が1人…

北川先生がこちらを見つめながら立っていた。

胸の奥で、アタシの心臓が、どくん、どくん、と強く鳴っているのが分かる。

これは緊張なんかじゃない。

女の闘争心。

目の前にいる女を、アタシのテフで、絶対に墮としてやるんだから。

(北川)

ごんにちは、伊藤さん。
ちゃんと時間通り来てくれたのね。

(伊藤)

当たり前でしょ。

(北川)

授業は全然出ないのに、
こういう時はちゃんと時間守れるのね。

(伊藤)

バカにしないでください。
アタシはレズえっち最優先で生きてるんだから。

(北川)

それで…？
バトルとか言ってたけど…勝敗はどのように？

(伊藤)

簡単よ。どちらかがえっち続行できなくなるまでイかせ合うの。
身も心も、目の前の女に屈したときが負けってこと。

(北川)

ふん。素敵じゃない♡
わかったわ。

(伊藤)

…ってか、いつものジャージじゃないんですね。
スーリなんか着ちゃって。

(北川)

くすっ♡

ここでえっちするときは、いつもこの服装なの。
大人の女の強さを分からせるためにね。
伊藤さんはいつもの制服だけど…
帰りの着替えは用意してるのかしら？

(伊藤)

はー？そんなの必要ないから。
先生こそ、高そうなスーツのクリーニングのこと
気にした方がいいんじゃない？
ぐちゃぐちゃに濡れても知らないんだから。

(北川)

くすっ♡それは怖いわね♡

伊藤さんの負け潮、浴びないように
気をつけなくちゃ。

(伊藤)

ふー、ふー
その余裕ぶった口…
すぐにきけなくしてあげる。

(北川)

くすっ♡楽しみ♡

ああそうだ、今日はもう誰もここに近づかないから…
遠慮せず、本気を出していいのよ♡
本気の、喘ぎ声を♡ふふふっ♡

(伊藤)

ふー、ふー
ほんと、人をイライラさせる天才ですね、先生は…！
っていうか、先生こそ…

ふー、ふー、
くすっ♡アタシの制服に潮かけないでくださいよ♡

(北川)

ああ、生意気…♡
ぞくぞくしちゃっ…♡
さあ…伊藤さん…♡

先生の、特別授業…始めるわよ…♡

んはあ…♡ふう…♡

あうむ…ちゅっ、ちゅ…んっ…ちゅっ
ちゅっちゅっ…ちゅっっ…ちゅっ

(伊藤)

あうむ…ぢゅっ、ぢゅっ！
んっ…んっ…ぢゅっ！ふー…
ぢゅ、ぢゅっ！ぢゅ！ぢゅっ！ん、んんっ！

(北川)

っはあ…♡
そんなに興奮しないで♡
もっと、楽しみましょう…♡
伊藤さんの体も…いっぱい触ってあげる…

あうむ…ちゅっ、ちゅ…んっ…ちゅっ
ちゅっちゅっ…ちゅっっ…ちゅっ

(伊藤)

あうむ…ん…んん…
ぢゅっ、ぢゅっ！ぢゅっ！んっ
ぢゅ！ぢゅっ！ぢゅ！ぢゅっ！ん、んんっ…っ

(北川)

どう？触られながらキスするの、気持ちいいでしょ？

(伊藤)

ふん、この程度、全然…！
その余裕、すぐに崩してあげるから♡
先生のおまんこ…♡
アタシの指で…犯してあげる…♡
ほら…

(北川)

んう…
もう、そこ触っちゃうの…？

あっん…♡んんう…んう…んっ…
ああ♡はあ、はあ、ああ…♡ああん…♡
んんう♡ん…あん♡んう…んんう♡

(伊藤)

スカートだから…先生のショーヅ♡簡単に触れちゃう…
♡ほら♡
さす、さす…
さす、さす…
くすっ♡グリみっけ♡
ショーヅの上からいじめてあげる…♡
さす、さす…ごり…ごり…
さす、さす…ごり…ごり…♡

(北川)

ひゃっ♡そこ♡んっ♡んんっ♡
はあ♡はあ♡ああ♡はあ♡
伊藤さん♡

あうむ♡ちゅっ、ちゅ…んう…ちゅっ…はあ♡
れろ♡れろれろ…♡
ちゅっちゅっ…ちゅうう…ちゅっ♡

(伊藤)

あうむ…ぢゅ…ぢゅう…んん…
ばかね…キスなんかじゃ…イかないから…
ぢゅ！ぢゅっ、ぢゅう！ん、んんう…

さす、さす…こり、こり…
ぢゅ！ぢゅっ、ぢゅう！んん…
さす、さす…こり、こり…

(北川)

ちゅっ、ちゅう…ちゅっ…はぁ♡
んん…んん♡
ちゅっ、ちゅうう…ちゅっ♡
んん♡ん…んん♡づはぁ♡

くすっ♡先生のお股、そんなに触りたいの？

(伊藤)

分かってないですね、先生♡レズバトルですよ？
生めるいキスなんかで勝てると思ってるの？
ほら、女の弱い所…♡
どんどん、どんどん攻めてあげる♡

(北川)

ふふっ♡お好きにどうぞ♡
じゃあ先生は…伊藤さんのかわいい体をたくさん触ってあげるわね♡

(伊藤)

さす、さす…こり、こり…
ふー、ふー…
さす、さす…こり、こり…
ふー、ふー…

(北川)

ふふっ♡…んん♡
さぁ…♡ さぁ…♡
ん♡ あん♡
さぁ…♡ さぁ…♡

(伊藤)

ショーワに指…入れてあげる…！
ほら…ほら…♡
あは♡あった♡
先生のフリちゃん…いじめてあげる♡
くり…くりゅ♡
くりゅ…くりゅ♡

(北川)

入れちゃうの？くすっ♡どうぞ…♡
ん…んん…
あ…ん…んう…♡
んん…んう♡
ん…ふ…ふふっ♡
いいわよ♡もっと触ってごらんなさい♡

あうむ…♡ちゅ…ちゅう…んちゅ…ちゅ…♡
ん…んん…♡
ちゅ…ちゅう♡
れろ…れろ…んん…ぷはあ♡

(伊藤)

んん…ぢゅっ…ぢゅぢゅ…んんっ
ぢゅ、ぢゅぢゅ…ぢゅるる…んっ
ぢゅぢゅ…れろ…れろ…んん…ぷはっ
はあ…はあ…はあ…はあ…

(北川)

くすっ♡どう？先生のキス…♡
えっちな気分が高まってきたでしょう？

(伊藤)

そんな、わけ…ないからっ…

(北川)

睨んでるつもりかもしれないけど…
お顔真っ赤で目がとろんってしちゃってるわよ♡

体も熱くなって…気持ちいいの、欲しくなってるんじゃない？

(伊藤)

ふんっ！先生だって、おまんこ、気持ちよくなってきてるくせに…！

腰が、くねくね動いてるわよ♡

もっと快感を与えてあげるから♡

アタシのテクに、どこまで耐えられるかしら？

くりゅ…くりゅ…ほら♡

くりゅ…くりゅ…くすっ♡

アタシの指太ももで挟んで、

攻めを弱くしてほしいんでしょ♡

だめですよ♡

ちゃんと気持ちよくなないと…♡

くりゅ…くりゅ…

くりゅ…くりゅ…

(北川)

ん…んんっ♡

んん…んう…♡

ん…ゃん…♡

んん…んんう♡

ん…ふふっ♡

必死にこりこりしちゃって…♡

余裕がなくなってきたの？

あうむ…ちゅう…ちゅう…ちゅ…ちゅ…♡

れろれろ…れろ…んっ…んん…♡

ちゅ、ちゅう♡

れろ…ちゅう…んん…ぷはあ♡

(伊藤)

んん…ぢゅ…ぢゅう…んんっ！

ん…んんうっ！

んんっ♡ぢゅ…れろ…れろ…

ぢゅう、んんっ♡んっ♡んんうっ！ぷはっ！

はぁ！はぁ…！はぁ！はぁ…！
はぁ、はぁ…はぁ、はぁ…

（北川）

どう？伊藤さん…これが大人のえっちよ…♡
子どものお遊びとは違うの…
時間をかけて…少しずつ着実に…高めていくのよ…♡

（伊藤）

ふ、ふん…確かに友達同士と同じようにはいかないみたいね…
でも、ちょっとキスが上手いくらいで調子に乗らないでよね…！
すぐに先生の弱い所、見つけて…イキ堕としてあげるんだから…！

■ 04 乳首攻め vs 手マン「先生もしかして…♡あぁ♡中、濡れてきちゃったぁ…♡」

（北川）

そろそろ伊藤さんの体も温まってきたようですし…
シャツの中に手を入れて…

こ・こ・も…♡
触ってあげる…♡
ブラの上から、伊藤さんの乳首の周りを…
指で…くーる…くる♡

（伊藤）

ん…ひゃっ…♡
ふー、ふー♡ ふー、ふー♡
ひゃ、あぁんっ♡

（北川）

くすっ♡可愛い声が出たわね♡
ブラ越しなのに…感じちゃってるの？

（伊藤）

そ、んなの…感じるわけないでしょ…！

(北川)

どうかしら？ほら…ほら…♡

ほら…ほら♡

(伊藤)

ん…んんうっ！

んん…ひゃん！

(北川)

うふっ♡

伊藤さんの体は正直に教えてくれてるわよ♡

(伊藤)

くっ…先生だって、すぐに…！

くり…くりゅ…くり…くりゅ…

くり…くり…！

くり…くり…！

(北川)

んー？んー…ふふっ♡

どうしたの？

ほら、ほら♡

くーるくる♡くーるくる♡

(伊藤)

ん、んんっ…！

ひゃあああっ！

くり…くり…！

くりゅ…くりゅ…！

どうして…さっきまで効いてたはずなのに…！

(北川)

くすっ♡

伊藤さん…残念だけど…

正しくは、効いてたと思い込んでた…よ♡

先生のおまんこ…全然濡れてないの、わかってるでしょう？ふふっ♡

(伊藤)

っ…！そんな…
今に見てなさい…！
アタシは強いんだから…！
女の弱い所なんて…すぐ、見つけてやる…！
くり…くりゅ…！
くり…くりゅ…！
ここはどう…？
くり…くり…！
くりゅ…くりゅ…！

(北川)

ん…ふふっ♡
ん…んー…
はい、終わり♡
次は先生の番よ♡
くーるくる♡

(伊藤)

あああ！

(北川)

くーるくる♡

(伊藤)

あ、ああん！

(北川)

そろそろ…指をブラの中に入れてあげる…♡
ほら…ほら…

(伊藤)

あ…あぁ…

(北川)

伊藤さんの…乳首…の周りを…
さあ…さあ…

(伊藤)
ん、んんっ…！

(北川)
指でなぞって…
さあ…さあ…♡

(伊藤)
ふー、ふー♡
んんっ…！

(北川)
さあ…さあ…
つん…つん♡

(伊藤)
ん…ひゃ、ああん！！！！

(北川)
くすっ♡可愛い声♡感度抜群ね♡
つん…つん♡

(伊藤)
あ、ああん…！んんっ…！

(北川)
ふふっ♡まだ乳首なのにこんなに声荒げて…♡

(伊藤)
させ…ない…！
クリがだめなら…中に、入れてあげる…！

(北川)
ん…んんっ！

て、こら…伊藤さん…！
先生…まだ…濡れて…な、ああん♡

(伊藤)
あら？先生、中の方が良いの？
ぐちゅ…ぐちゅ…♡
ぐちゅ…ぐちゅ…♡

(北川)
ん、んんっ…ダ×よ…♡
ん、あんっ…♡

(伊藤)
ぐちゅ…ぐちゅ…♡
ぐちゅ…ぐちゅ…♡

(北川)
んっ…んっ…！
ん…ああん！

(伊藤)
あれ？先生…♡
もしかして～…♡
中ぐちゅぐちゅされちゃったら～…♡

ああ…♡
濡れてきちゃったあ…♡

(北川)
く…うん…♡
あら…そうかしら…？
伊藤さんの…汗なんじゃないの…？

(伊藤)
そんな訳ないでしょ♡
ほら…ぐちゅ♡ぐちゅ…♡

ぐちゅ♡ぐちゅ…♡

(北川)

あん…あん♡ やん♡ ああん♡

(伊藤)

あっははは♡先生、そんな可愛い声出るんだあ♡
おまんこも濡れてきて…
アタシに弱点見つかったね♡

(北川)

伊藤さんが強引に入れてくるからよ…♡
そういうつもりなら…先生だって…

(伊藤)

っ！？

(北川)

伊藤さんの欲しがってる乳首…直に触っていじめてあげる
わ♡
てり…てり…♡
てり…てり…♡

(伊藤)

あ、やあああっ！
あん…ああん！
ひゃん！ああん！

(北川)

じゅるるっ…
反対側は濡らした指で…
める…める…♡
てり…てり…♡

(伊藤)

あ、ああん！あん！あん！

はあっ！はあっ！

(北川)

両方の乳首をいじめてあげる！

てり…♡てりゅ…♡

める…める…♡

てり…てり…♡

める…める…♡

(伊藤)

やん！ああん！

あ…ああん！

はあ…はあ…！

あん！…あ、ああん！

(北川)

ずーっと焦らされてたから…欲しかったのね♡

乳首だけなのに、腰まで動いちゃってる♡

じゅるっ…

める…める…♡

てり…てり…♡

める…める…！

てり…てり…！

(伊藤)

ああ…ああ！あああん！はあ！はあ！

や、だ…！あん！だめ…！あん、ああん！

それ…やめ…て！ああん！

やば…い…からあ…！はあ！ああ…！

(北川)

どうしたの？そんなに首を横に振って…♡

もしかして…イってしまうの…？

(伊藤)

そんな…わけ…！あん！ああん！

(北川)

いいのよ？乳首だけで達してしまっても…♡
先生が、しっかり導いてあげるから♡

(伊藤)

させ…ない…から…っ！
ぐちゅ…！ぐちゅ！
ぐちゅ…！ぐちゅ！

(北川)

う、うん♡
んう…んんっ♡
良いの？反撃なんかして…♡
じゅるっ…
める…める…♡
てり…てり…♡
める…める…！
てり…てり…！

(伊藤)

ひゃん！ひゃあん！
はあ！はあ！やだ…！
効…く…！だめ…！
あん…！やあん！

(北川)

耐えるのに専念しないと…
すぐてみ上げてきてきちゃうでしょ？
てり…てり…！
める…める…！
でも、反撃もしないと…
先生の指が、伊藤さんをどんどん…どんどん追い込んで…♡

3…
2…
1…

(伊藤)

ああ…ああ…！だめ…だめ…！
やだ…うそ…アタシ…もう…
いや…イっちゃう…！
イク…イクイク…イっちゃう…！
あ、あ…あああああ～～～！！！！

（北川）
ゼロ！ゼロっ！ゼロっ！

（伊藤）
ああん！ああん！
んんっ！んんっ！
ああっ！はあっ！
ああっ！ああ…！
はあ…！はあ…！はあ…！はあ…！
はあ…！はあ…！はあ…！はあ…！

（北川）
はあ♡はあ…♡はあ♡はあ…♡
はあ♡はあ…♡はあ♡はあ…♡
…くすっ♡伊藤さん…♡可愛い…♡
乳首だけでイってしまったの…？

（伊藤）
はあ…！はあ…！はあ…！はあ…！
うそ…アタシが…イった…！？
はあ…はあ…！はあ…はあ…！

（北川）
どう？あんなに自信満々だったのに…
先生にあっさりイかされてしまった気分は…♡

（伊藤）
っ…！
でも、まだまだやれるんだから…！
次は、絶対に先生をイかす…イかせてやる…！

■ 05 クリ攻め vs 乳首+手マン「女の弱点…おまんこの
墮とし方…教えてあげる♡」

(伊藤)

次は先生がイく番だから…！
中、一気に攻めてあげる！
ほら…ほら！
ふー、ふー
ぐちゅ…ぐちゅ…
ぐちゅ…ぐちゅ…！

(北川)

んんっ♡強引ね…♡
ま、やってみなさい♡
ふー、ふー…
ふふっ♡
ふー、ふー…
んん…♡

(伊藤)

まだ、まだよ…！

この辺が弱いことは…わかってるんだから…！
ぐちゅ…ぐちゅ…
ぐちゅ…ぐちゅ！

(北川)

くすっ♡どうしたの？
全然効かないわね…♡
学校で一番強いレズなんでしょ？
この程度なのかしら？

(伊藤)

っ…！どうして…？
さっきはこれで、濡れてきたのに…！
ぐちゅぐちゅ…！
ぐちゅ…！ぐちゅ…！

(北川)

くすくす♡

ふふふっ♡

じゃあ、サービスタイムはここまで…♡

先生が…女の弱点…おまんこの墮とし方…教えてあげる…♡

まずは…

(伊藤)

っ…！

(北川)

太ももの辺りをフェザータッチして…

すー…すー…♡

すー…すー…♡

(伊藤)

〜〜っ！

ふー、ふー…ふー、ふー…

(北川)

指が太ももから上にあがってくる…♡

すー…すー…

(伊藤)

ふー、ふー…ふー、ふー…

(北川)

スカートの中に入って…伊藤さんのショー'リに触れる…♡

(伊藤)

っ♡んんっ♡

(北川)

指が少しずつ、ショー'リの外側から…中心に…

すー…すー…

(伊藤)

はぁ…はぁ…はぁっ…！ っうう…！

(北川)

あら…？ ショーリ…濡れちゃってるじゃない…♡
えっち…♡ さっきの乳首でこ～んなにぐっしょりさせ
ちゃったの…？

(伊藤)

っ…う…言わないで…っ

(北川)

ショーリの中心にある…ワ・レ・目…♡
…先生の指が近づいて…
すーり…すり♡
すーり…すり♡

(伊藤)

あ…はぁあ…あぁあ…♡
はぁ…はぁ…♡

(北川)

ワレ目の下から上に、指が伝ってくる…♡
っ…っ…♡
っ…っ…♡

(伊藤)

はぁ…はぁ…あぁ…あぁっ…！

(北川)

頂上の突起に…♡
先生の指が…♡
触れる…！

(伊藤)

ひゃ、あぁあぁん♡♡♡

(北川)

あははっ♡可愛い声♡
びくんってなったわね♡

(伊藤)

はぁ…はぁ…♡

(北川)

よ〜く分かったでしょう？
女の子の体は…
少しずつ着実に昂らせていくのが…
本当に気持ちよくなるポイントなのよ…♡
そんな基本的なことも分かっていない女の子は…
先生には絶対に勝てないの…♡くすっ♡

(伊藤)

っ…！そんなの…違うわよ…！

(北川)

いやん♡

(伊藤)

アタシは…アタシなりのえっちの仕方があるんだから
…！

ぐちゅ！ぐちゅ…！
ぐちゅ！ぐちゅ…！

(北川)

ん…ふふっ♡

(伊藤)

こうやって激しく攻めまくって、今までどんな女の子だっ
てイかせてきたの！
ぐちゅぐちゅ…！ぐちゅぐちゅ…！
これがアタシのレズバトルの戦い方！
偉そうに、知ったようなこと言わないで！
ぐちゅぐちゅ…！ぐちゅぐちゅ…！

くす…っ♡

教師の言うこと聞かない、悪い子ね…♡

良いわよ…じっくりと分からせてあげるから…♡

本当に強い女とは、どういうものか…ふふっ♡

(伊藤)

ほら！先生の大きなおっぱいだって、揉んであげるんだから…！

ほら、ほら…ほら、ほら…！

(北川)

ほんと、強引なんだから…あん…♡やん♡

っ…ううん…♡

(伊藤)

あら？先生のおまんこ、きゅんってなったけど…？

おっぱい揉まれるの、好きなんですか？あはは♡

もみ…もみ…♡

もみ…もみ…♡

(北川)

くっ…うう…♡

そんな、こと…♡やん…♡

(伊藤)

あはっ♡先生の弱い所、また見つけちゃった♡

もみ…もみ…♡ぐちゅ、ぐちゅ…♡

もみ…もみ…♡ぐちゅ、ぐちゅ…♡

(北川)

んんう…♡んっ…うう…♡

はあ…ん…ううっ…♡

くう…ん…んんっ…♡

(伊藤)

シャリをまくり上げて…直に揉んであげる…♡

ふふふっ♡

(北川)

あ…やん…♡

(伊藤)

はあ～♡

先生のおっぱい、すごいおっきい…♡

いじめがいがありそう♡

もにゅ…もにゅ…♡

(北川)

ふふふっ♡

先生の胸に見とれて…

自分の体のことも気にした方がいいんじゃない？

ほら♡また、ショーヾの上から…すー…♡すー…♡

(伊藤)

や…ああん…！もにゅ…もにゅ…！

ぐちゅ…ぐちゅ…！

(北川)

んんう…♡ん…あん…♡

んっ…んんっ♡

(伊藤)

先生も…また濡れてきちゃいましたね～♡

わかりやすいおまんこ♡

(北川)

ふふっ♡でもね…わかる…？

伊藤さんの体は…もう先生に、いじめてほしくてたまらなくなってるの♡

(北川)

ほら…すーって、ショーツを擦る度に…お腹の奥がきゅんきゅんって…しちゃってるでしょう…？

(伊藤)
そんなわけ…！

(北川)
仕方ないの♡これが女の本能なのよ♡
すー…♡ きゅんっ♡早く欲しい…♡
すー…♡ きゅんっ♡もっと、芯まで届く刺激が…♡
すー…♡ きゅんっ♡ショーツの上だけじゃなくて…
すー…♡ きゅんっ♡中に入れて、直接いじめて、ほし
い…♡

(伊藤)
はあ、はあ…あぁっ♡
んん…んう…♡ あん…♡
はあ、はあ…っ…う…♡
あ…あん…っ♡ やん…♡ あ、ああん…♡

そんな…言葉で煽ったって…アタシは興奮なんてしないんだから…！
もにゅ…もにゅ…！ぐちょ…ぐちょ…！
乳首も…攻めてあげる…！
くり、くり…！ぐちょ…ぐちょ…！

(北川)
ん…んんう…♡ふー…ふー…♡
んっ…や…あんっ♡あぁ…♡はあ…はあ…♡

(伊藤)
あはっ♡きゅんって締まった♡
乳首も弱いんですね～♡
だんだんわかってきちゃった♡
先生を堕とす方法が…♡くすっ♡
くり、くり…！ぐちょ…ぐちょ…！
くり、くり…！ぐちょ…ぐちょ…！

(北川)

っ…♡　っ…♡　う…うん…♡
あ…そこ…ひゃ、ああん♡
ふー、ふー…
やったね…♡次は…先生の番よ…♡

(北川)

すー…♡　きゅんっ♡欲しいね…♡
すー…♡　きゅんっ♡ショー'ッの中に指入れてほしい…♡
すー…♡　きゅんっ♡クリトリス…いじめてほしい…♡
すー…♡　きゅんっ♡クリトリス…！いじめてほしい…！
しょうがないから…いじめて…あげる…♡
すー…♡　くりくり…くりっ♡

(伊藤)

んんう…♡んっ…♡
あん…♡うう…♡
はあ…はあ…♡
ああっ♡んう…♡…っ！
ひゃ！？あ、ああああん♡♡♡

(北川)

あはっ♡　すごい反応♡くり♡くり♡くりくりくり♡

(伊藤)

あ、あ、あ、あ、ああああん！はあ！はあ！
やあ！だめ！それ、ぞくぞく、やばい…♡

(北川)

くり♡くり♡くり♡くり♡
くり♡くり♡くり♡くり♡
くり♡くり♡くり♡くり♡くすっ♡

(伊藤)

あん！あん！やだ…！
あん！ああん！ちょ…っ…！
効…く…うん！やあん！だめええ…！

(北川)

よかったわね♡

ずーっと欲しかった…クリをいじめてもらえて…

きゅん♡きゅんっ♡って伊藤さんのおまんこが、喜んでるわよ♡

くり♡くり♡くりくりくりくり…♡くりっ♡

(伊藤)

やっ…ば…！だめ…！

先生だって…乳首と…中…攻めて、やる…！

くりゅ…くりゅ…！ぐちゅ…ぐちゅ…！

(北川)

くすっ♡ん～…無・駄・よ♡

反撃、全然弱いじゃないの♡

もう伊藤さんは、先生にイカされたくてしょうがないの♡

抵抗なんてもう、できないんだから♡

ほら…くり♡くり♡くりくり♡

くり♡くり♡くりくりくりくり…♡くりっ♡くりっ♡

(伊藤)

ああああっ！やだぁ…！だめなの…！

そんな一気に擦っちゃ…！アタシ…アタシ…！

はぁぁ！やだ…！うそ…！

あん！あん！あん！あ、あ、あぁん！

(北川)

あっはははは♡たくさん愛液が溢れちゃってるわよ♡

もうショーリの中びっしょびしょ♡

くり♡くり♡くりくり♡

腰もすっごい動かしちゃって…♡

くり♡くり♡くりくり♡

(伊藤)

ああ…アタシ…あぁん！だめ！言わないでえ…ううん…！

あん！あん！あ、あぁん！

ちがっ…あ、あああっ！やぁん！

やだ…やだ…やだぁ…！あぁん！はぁ！はぁ！

(北川)

もう限界みたいね…♡いいわよ♡

(伊藤)

あん！だめ！イっちゃう！もう、キちゃうら…！

(北川)

イっちゃいなさい…♡ほら…♡
くり…くりくり…

3…

2…

1…

(伊藤)

だめ…だめだめだめだめ…

イく！イ…イ…

イっくうううう～♡♡♡♡♡

(北川)

ゼロ♡ゼロ♡ゼロ♡

(伊藤)

あああああ～♡

あぁんっ！あぁんっ！

あぁんっ！あぁんっ！

ううん…！ううん…！

っ…！っ…！

はぁ…！はぁ…！はぁ…！はぁ…！

はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…っ！

(北川)

はぁ♡はぁ…♡はぁ♡はぁ…♡

はぁ♡はぁ…♡はぁ♡はぁ…♡

ふー…♡ふー…♡ふー…♡ふー…♡

ふー…♡ふー…♡ふー…♡ふー…♡

…くすっ♡わかったでしょう…？

大人の…女の、本当に気持ちいいえっちが、どういふものか…♡

（伊藤）

はぁ…はぁ…♡や…だ…♡

アタシが…この、アタシが…立て続けに…♡

こんな、ガチイキ決めるなんて…♡

（北川）

いっぱい焦らされた分…強く、深い絶頂が味わえるの…

♡

子供のお遊びえっちとの違いが、わかったかしら？ふふっ

♡

（伊藤）

はぁ…はぁ…♡

悔しい…くぅ…

絶対…絶対に…やり返してあげるんだから…！

■ 06 相互手マン「裸が見たいなら、先生をイかせてみなさい♡」

（北川）

あらあら…もうショーツからスカートまでぐっしょりね♡

先生の言った通りになったでしょう？

仕方ないから…全部、脱がせてあげる。

（伊藤）

はぁ…はぁ…

あ…んんう…

ん…んうう…

はぁ…はぁ…

（北川）

あぁ…♡伊藤さんの…可愛くて、えっちな体♡

先生に2回もイかされて…

もう汗と愛液でとろっとろね…♡

(伊藤)

はぁ…はぁ…

はぁ…はぁ…

(北川)

伊藤さんは、目の前の女教師に勝てないの…

早くも上下関係がはっきりしたようね♡ふふっ♡

女としてどちらが格上なのかを、徹底的に分からせてあげる。

次は、伊藤さんの…

クリの…付・け・根…♡

(伊藤)

あっ！ひゃあうっ！…っくう…！

(北川)

追い込んであげる…♡

くり…くり…

くり…くり…

(伊藤)

ああ！やん！あ、あああ！

なに…これ…！くっ！ううう…！

あん！あん！や、あ、あああん！

(北川)

ふふっ♡どうかしら？

回復しきってないクリを根元から刺激されるのは♡

くり…くり…

芯まで…快感が、届く…♡

くり…くり…

そんなことができるお友達、いないでしょう♡

くり…くり…

(伊藤)

ひゃん！ひゃ、あああん！
ああ！あん！はああ…あああん！
や…だ…め…♡はあ！はあ！
効き…すぎちゃ…あああん！あん！ああん！

(北川)

どうしたの？もう、反撃する気も起きなくなっちゃった？
当たり前よね…これだけ圧倒的な実力差を見せつけられては…♡
くり…くり…♡
くり…くり…♡

(伊藤)

はあ…！はあ…！ああん！
や…あ…ああん！くら…はあ…はあ…
やって…やる…あよ…あ、ああん！
はあ！はあ！
やり…！返して…やるん…だからあ…！
…っ！えいっ！
ぐちゅ…！ぐちゅ…！
もにゅ…！もにゅ…！

(北川)

っ…♡くすっ♡
そうこなくちゃ…♡

(伊藤)

先生は…ああん…おっぱいと、おまんこ、同時が弱いのか…
…バレてるんだから…！
ぐちゅ…！ぐちゅ…！
もにゅ…！もにゅ…！
乳首…くりゅ…くりゅ…！

(北川)

っ…ん…んんっ♡
ふん…♡まだ諦めてないのね…っ♡んっ♡
あ、い、やんっ♡

(伊藤)

先生の弱いとこ、おまんこの締め付けで分かっちゃうんだから…！

ぐちゅ…！ぐちゅ…！くりゅ…くりゅ…！

ほら♡きゅんってしてる♡

このまま、追い詰めてあげる…！

ぐちゅ…！ぐちゅ…！くりゅ…くりゅ…！

ぐちゅ…！ぐちゅ…！くりゅ…くりゅ…！

(北川)

っ…んんっ…んう…♡

あう…♡い、やあん♡

はあ、はあ♡はあ、はあ♡

はあ、はあ♡はあ、はあ♡

ん、んう♡　っ…♡　っうう♡

やんっ♡ん…あ…ああん♡

はあ、はあ…♡…ああ♡伊藤さん…♡

それ…なかなか…良い感じよ…♡

(伊藤)

ぐちゅ…！ぐちゅ…！くりゅ…くりゅ…！

ほら、だんだん濡れてきた…くすっ♪

やっぱり…乳首と一緒にされるのが弱いんだあ～♡

ぐちゅ…！ぐちゅ…！くりゅ…くりゅ…！

乳首も…ビツビツに勃ってる…♡

くり…くり…♡ぴん…ぴん…♡

(北川)

あ、ああん♡ん…んんう…♡

はあ…はあ…♡はあ…はあ…♡

はあ…はあ…♡良いわあ♡その調子よ…♡

ああん♡　あ…やあん♡

んん…♡ううん…♡あ、ああん…♡はあ…♡はあ…♡

(伊藤)

先生も…スーリ…脱がせちゃあ…♡ほら…

(北川)

はぁ…はぁ…ふふっ♡まだ、だめよ♡
くり…くり…♡
くりっ…♡くりっ…♡

(伊藤)

あ！あぁん！やぁん！っ…ううん！
はぁ！はぁ！
ちよっと…！ずるいわよ…脱ぎ、なさいよ…！

(北川)

くすっ…♡
先生を脱がせたいの…？
では…伊藤さんに、課題を出してあげます…♡
先生の裸が見たいのなら…

先生を、イかせてみなさい♡

どうやったら、先生をイかせられるかしら…ふふっ♡

(伊藤)

っ…！うざ…！やってやるわよ…！
そのくらい…アタシなら簡単にできるんだから…！
くり…くり…！ぐちゅ…ぐちゅ…！
ぴん…ぴん…！ぐちゅ…ぐちゅ…！

(北川)

くすっ♡…やん♡
…っ♡…ううん♡
ただし…っうん…♡
制限時間は…
伊藤さんがいくまで、よ♡
くり…くり…♡
くりっ…♡くりっ…♡
くりっ…♡くりっ…♡

(伊藤)

っ！あぁん！また、そこ…！やぁぁん！

おんなじとこばっか…はぁ！はぁ！
ずるい…！あん！ああん！あああん！

(北川)
あら…自分が気持ちよくなってちゃだめじゃない…♡

(伊藤)
くぅ…！これは…どう！？
ぐちょ…ぐちょ…！くり…くり…！
じゅる！じゅるるる！

(北川)
っ♡くぅん♡先生のおっぱい、吸うなんて…♡

(伊藤)
また強く締まった…！
じゅる…じゅる…じゅるるる…！
これね…じゅる…じゅじゅるる…
じゅっじゅっ…じゅずずずるるる…！

(北川)
いやあん♡あん♡はぁ♡はぁ♡
あ…ああん♡ふふっ…あっ…い、やあん♡
ま、ずい…♡それは…ちよっと…ああん♡
だめ…よ…あ、ああん♡

(伊藤)
へえ～♡
すっごいきゅんきゅんしてるし、
すぐぐちょぐちょになっちゃった♡
じゅる…じゅる…じゅるるる…！

(北川)
や…あああん！ちよ…っ！伊藤さん…♡
それ…反則…よ…ああん！

(伊藤)
ぷははっ♡レズバトルに反則なんてないから！

ってかそんな簡単なことだったんだ〜♡
じゅ…じゅるるる…

(北川)
ひ…ひゃああん！

(伊藤)
あっはは♡
課題とやら♡簡単に解けちゃいそうね♡
ぐちゅ…ぐちゅ…じゅる…じゅるるる…！

(北川)
や、あああん！そんな…！あ、ああん！
はあ…はあ…！だめ…
先生…ちょっと…それ…だめ…かも…♡
あん！ああん！ああああん！はあ！はあ！

(伊藤)
はははは♡やった！やった！
やっとう導権握ったわよ♡
じゅる！じゅるるる！ぐちゅ…！ぐちゅ…！
じゅ！じゅじゅる…！じゅる！ぐちゅ…ぐちゅ…♡

(北川)
ああん！うそ…！だめ…！昇って…きちゃ…！ああん！
はあ！はあ！はあ！はあ！まだ、先生…ああん！負け…ないわよ…！
くり…！くり！
くり…！くり…！

(伊藤)
やあん！あ！ああん！ちょっと…！
いい所なのに…ああん！あん！や、ああん！だめ…！

(北川)
伊藤さんの弱点…クリの付け根…♡
くり…！くり！
ほら♡ここを耐えきらないと、勝てないわよ♡

くり…くり…くりくり…！くり！

（伊藤）

ああん！あああ！

それ、やばい…やばい…！また…きちゃいそ…！

（北川）

はあ♡はあ♡伊藤さん♡いいの？

そのまま、果ててしまうの…？

くりくり…！くりくり…！

頑張っ♡て♡

くり…！くりくり…くりっ！

（伊藤）

やあん！やあん！あ、ああん！

だめ…だめ…だめえ…！はあ！はあ！

もうちょっと…なのに…！

体が…言うこと…きかない…！ああああ！

（北川）

くり！くり！

ほら…

くり…くり…！

（北川）

ほら…っ♡

くりくり…

イ<…

くり…くり…！

クリの根元で…イっちゃうわよ…♡

（伊藤）

あん！あん！はあ…はあ…

やん！やあん！やだ…やめて…！

あ！あああん！あん！はあ！はあ！

もうだめ…

やあん！むり…！はあ！やばい…！

（北川）

もう限界♡かしら…♡では…

3…くりくり…くり…♡

2…もうくる…強い波が…♡

1…イくイく…いつ、ちゃうら…♡

(伊藤)

やあん！ ああん！ だめ！

はあ！ はあ！ だめだめ…！

イくから…イくイく…もう…いつ…くううううう…！

(北川)

ゼロ！ ゼロっ！ ゼロお…！

(伊藤)

あああんっ…！ あああんっ…！

ううんっ…！ くうん…！

ううん…！ ううん…！

つつ…！ つつ…！

はあ…はあ…はあ…ううっ…

はあ…はあ…はあ…ううっ…

はあ…はあ…はあ…はあ…

(北川)

あっはははは♡はあ♡はあ♡

はあ♡はあ♡はあ♡はあ♡

ふー♡ふー♡ふー♡ふー♡

くすっ…♡残念…時間切れ…♡

うふっ♡ちょっといい所まで頑張ったけど…惜しかったわね♡

(伊藤)

はあ…はあ…悔しい…！

もうちょっと…もうちょっとだったのに…！

はあ…はあ…はあ…はあ…

(北川)

でもまだやれるわよね…♡

伊藤さんはあと何回イったら堕ちちゃうのか…

そろそろ心配した方がいいわよ…くすくすっ…♡

■07 シックスナイン「アタシの必殺技を見せてあげる…
クリ舐めてあげるわ…♡」

(伊藤)

窓から差し込んでいた夕陽はいつの間にか月明かりに変
わっていた。

アタシと先生のえっちによる汗や体液などが白いマットを
濡らし…

体育倉庫内の匂いは、女性特有の甘い匂いとも混ざり
合ったものとなっていた。

そしてそれが、強い絶頂で揺らぎかけたアタシの女の闘
争心を…もう一度昂(たか)ぶらせる。

…でも、思いもしなかった。このアタシがここまで立て続
けにイカされるなんて。

この女…北川先生は強い。

でも、アタシは絶対負けない。

その余裕で高圧的な表情、絶対に崩してやるんだから。

はぁ…はぁ…もう、許さないから…！

先生の弱点…めちゃくちゃに犯してやる…！

(北川)

ふっん…あれだけイき散らかしたのに、その挑戦的な目
…♡

流石…体力だけは立派ね♡

まだ威勢を保てるなんて…♡くすっ♡

…あら？何をしてくれるの？

(伊藤)

アタシの必殺技を見せてあげる…

じゅる…

先生のショーツずらして…クリ…舐めてあげるわ…♡
れる…れるれる…じゅる…れる…れる…

(北川)

っ…♡う、うん…♡ん…んんう…♡やあん♡
へえ…そんなこともできるのね♡

(伊藤)

先生のおまんこびっちゃびちゃ♡
やらしい汁がもういっぱい…♡
じゅる…じゅるるる…れる…れるれる…じゅるっ♡

(北川)

う…ううん…♡えっち…♡っ…やん…♡んん…んうう…♡

(伊藤)

じゅる…乳首も…いじめてあげるから…くり…くりくり…
じゅる…れるれる…れる…じゅる…じゅるる…

(北川)

っ！くう…！あ…ああん…！
はあ、はあ…♡それ…なかなか…うう…♡
効いちゃう…んんうっ…ああん♡

(伊藤)

じゅる…もう…スカート邪魔…じゅる…れる…れる…
早く、脱いでよね…じゅる…じゅるる…

(北川)

く…ふふっ♡や、ああん♡
んん…んんう…っくうん…！
ふ…ふふっ♡
先生はね、イかせてくれた女にしか、
裸は見せないって決めてるの…♡

(伊藤)

じゃあ…さっさと…イかせてあげる！
じゅる！じゅるるるる！れろ…れろれろれろ…じゅるっ！
くり…くりくり…びんびん乳首…くりくり…イけ…
じゅるっ…じゅるるるっ…じゅる…ぐしょぐしょまんこ…イけ
…っ！

（北川）

う、うううん…♡あ、ああ♡やあん♡
いいわ…♡気持ち良いわよ…♡あ、ああん！
はあ、はあ…！あ…ああん！やん！ああん！つくう…！
はあ、はあ！必殺技っていうだけあるわね…それなら…

（伊藤）

…っ！

（北川）

先生も、お返し♡じゅる…♡じゅるるる…♡

（伊藤）

ひゃ…あ、あああん！う、うううん…！

（北川）

くすくすっ♡自分が同じでとされると思わなかった？
伊藤さんのぐしゅぐしゅになったおまんこ♡
じゅる！じゅるるる…れろ…れろれろれろ…♡

（伊藤）

はあ、はあ…はあ、はあ…
つく…！
あっ…！やあん…！あん！ああん！あああん！

（北川）

あはは♡攻め返されるとすぐ可愛い声が出ちゃうわね♡
じゅる！じゅるるる…れろ…れろれろれろ…♡

（伊藤）

はあ、はあ…はあ、はあ…

ああん！やあん！やだっ！あん！アタシが…アタシが攻めるんだから…！
じゅる！じゅるる！れろ…れろれろ…じゅる、じゅっ、
じゅううう…！

(北川)

っ…！ううっ…！んん…ん…あああん！はあ、はあ…！
ああん！はあ、はあ…！
じゅるるる…じゅるっ…！じゅっじゅっ…じゅうう…れろれろ
…れろ…れろ…♡

(伊藤)

ひゃあんっ！あん！っくう…しつこい…舌…っあああん！
やあん！
乳首も、激しくこりこりしてやる…！こり…！こり…！く
り…！くり…！
じゅる！じゅるる！じゅじゅるるるる…！れろれろ…れろ…
れろれろれろお…！

(北川)

はあ、はあ…あああっ！？く…うううん…！や、だめよ…！
はあ！はあ！あん！ああん！そんな…！先生が…押され…あ、あああん！
やん！ああん！はあ！はあ！
じゅる！じゅるる！じゅじゅじゅじゅるるるる…！

(伊藤)

ううううんん…！はあ…！はあ…！ん…くう…！
じゅるるる！れろれろれろ…こり、こり…！れろれろれろ…こり、こり…！
ふふっ♡これね…れろれろれろ…！これが弱いからね…！
れろれろ…こりこり…！

(北川)

はあ、はあ！はあ、はあ！うううん！あ、あああん！？や、だめ！それは…ああん！あん！い、やあん！

ちが…ああん！はあ！やめ…あ、ああん！だめ…！そ
んな…！

（伊藤）

くすっ♡汁いっぱい出てきた…♡じゅる！じゅるるる♡
余裕、なくなってきたね…じゅるる…じゅるるる！くり…く
り…！

このまま…じゅる！じゅっ…れるれる…れるれる…
イかせてあげる…！じゅるるる！じゅっ！じゅるっ…！くり
くり…くりくり…！

（北川）

はあ…はあ！はあ…はあ！う…うううん…！っあん！
はあ！はあ！はあ！はあ！ああああっ…！だめ、ええ…！
やん！ああん！

はあ！ああ…っ！伊藤…さん…！だめなの…ああん！先
生…！もう…！

はあ！はあ！はあ！ああ！っ！いやあん！だめ！いつ…
く…う…！

伊藤さんも…！じゅじゅるるるる！じゅっ！じゅっ！じゅ
るる！

（伊藤）

うううん！んん！んんっ…！じゅる！じゅるる！んうっ！
れる…れるれる…！

（北川）

ああん…！ああん！じゅる！じゅじゅるるる！じゅる！
んああん！

はあ！はあ！いつて！じゅる！いきなさい…！れるれる
…！れる…れる…！

（伊藤）

やあああん…！ああん！ああん！だめ…！いつちゃっ…！
ああ！ああん！

じゅる！うん！じゅるる！う、ううん！じゅるるる
る！

(北川)

やあん！じゅる！ああん！じゅるる！…んんううう…！

(伊藤)

じゅるじゅる！イケ…！れろれろ…！くりくり…！じゅじゅるる！じゅるるるるるるるっ！

(北川)

あああ！だめえ！い…い…いく…！いくっ！いつ…くううう～～～！！！！

(伊藤)

うううんんん…！？

(北川)

ああん！ああん！んんっ！あっああん！
ああん！ああん！んんっ！あっああん！

(伊藤)

ああん！ううん！っくうん！っううん！
んんうっ！ああん！ああん！んんうっ！

(北川)

はあ…！はあ…！はあ…！はあ…！
はあ…！はあ…！はあ…！はあ…！

(伊藤)

はあ…！ああ…！ああ…ああん…！
はあ…！はあ…！ああ…っううん…！

(北川)

ふ…ふふ…っ♡
ついに…先生…イカされ…ちゃった…♡
はあ…はあ…♡でも…♡

(伊藤)

はあ…はあ…はあ…はあ…
っ…うう…はあ…はあ…

(北川)

伊藤さんも…またイっちゃったわね…♡

はぁ…♡はぁ…♡

そろそろ…絶頂の負荷に、体が…追いつかなくなってきたでしょう…♡

(伊藤)

はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…

(北川)

悔しいわよね…♡

せっかく先生をイかせられたのに、
自分の方が余裕なくなってきた…♡

もう、ギブアップ…？

それともまだ…やれるのかしら…？

(伊藤)

はぁ…はぁ…っ…まだ…やれるん…はぁ…はぁ…だから
…っ

はぁ…はぁ…

(北川)

くすくすっ♡そうこなくっちゃ♡

■08 貝合わせ「教えてあげるわ♡女同士の真のセックスをね！」

(北川)

伊藤美来。やはりえっちに対する熱量、体力、性欲は物
凄いものを持っている。

生徒にイカされてしまったのは久しぶり。

しかし、それをトリガーに、私の中にある女の本能が告
げている。

目の前の女を、徹底的に堕とせてね。

あぁ…先生のスーツ…

まさか自分の体液で汚しちゃうなんて…

ちょっと想定外だったけど…
約束通り…脱いであげるわ…♡

どう？これが伊藤さんがずーっと見たかった…♡
先生のカ・ラ・ダ♡

（伊藤）

はぁ…♡はぁ…♡
…っ…♡
やば…っ♡
えろ…すぎ…♡

（北川）

ふふっ♡いろんな女の子を魅了してきた、
先生のこの魅惑の体で、伊藤さんも…
徹底的に堕としてあげる♡

（伊藤）

はぁ、はぁ、まだ、待って…
まだ…休ませ、て…

（北川）

させないわよ。
ほら、校内でえっちが一番強い女さんは…
これ、どうかしら？

足と足を、絡めて…♡

（伊藤）

ああ！？ ちょっ、何を…！
ん！？ あん！ 何、して…！

（北川）

あら？貝合わせは初めて？
うふっ♡じゃあ、先生が教えてあげるわ♡
女同士でする…真のセックスをね！

(伊藤)

あ、ああん！

(北川)

ほら！これが、伊藤さんが本気にさせた、先生のおまんこ♡

いくわよ…♡

ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

ふふっ♡

ふっ！ふっ！ふっ！

(伊藤)

あっ！あっ！あっ！あん！

はあ！はあ！ああ！あん！

(北川)

くすっ♡お互い熱々で、ぐしょぐしょヌルヌル♡でもクリトリスは固くてコリコリ♡

ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

(伊藤)

はあ！はあ！はあ！はあ！

やあ！あん！あん！ああん！

(北川)

女の弱点同士がぶつかり合い、擦れ合ってるの♡これ、最高に気持ちいいでしょう♡

(伊藤)

はっ！はっ！はっ！ああ！

(北川)

ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

ほら！気持ち良くて反撃できない？

(伊藤)

あん！あん！あん！ああん！

はっ！はっ！はっ！はああ！

(北川)

ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！
一番強い女なんでしょう♡このくらいで屈しちゃうの？

(伊藤)

ああん！やっ！あっ！ああん！
はあ！はあ！はあ！はあ！
っ！そんな、訳、ない、から…！
ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！
ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

(北川)

んっ♡んんっ♡んっ♡やん♡
ふふっ♡そう、こなくっちゃ♡あん♡

(伊藤)

ふっ！ふっ！アタシ、だって♡
ふっ！ふっ！この、くらい！
ふっ！ふっ！できる、から！
はっ！はっ！あはっ♡先生だって！感じてんじゃないの♡
ふっ！ふっ！はあ！はあ！

(北川)

ああん♡んっ♡んん♡やあん♡
はあ、はあ♡はあ、はあ♡
んんっ♡んっ♡あん♡ああん♡
やあん♡はあ、はあ♡
くすっ♡伊藤さんほどではないわよ♡ほら！
ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

(伊藤)

ああん！うっ！っ！くっん！

(北川)

ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！
ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

ほら♡先生のいやらしくて、魅力的な体が…伊藤さんを、
どんどん、どんどん追い込んでいくわよ♡

(伊藤)

やん！っう！ああん！
はあ！はあ！はあ！はあ！
ふー！ふー！ふー！ふー！
ふー！ふー！ふー！ふー！

(北川)

ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！
ふふっ♡可愛い声♡真っ赤な顔…♡もう高まってきちゃっ
たの？

(伊藤)

あん！だめ！だめ！だめえ！
はあ！はあ！やっばい…はー！はー！

(北川)

ふっ！ふっ！ふっ！
ふふっ、じゃあこれはどう？ほら♡ほらあ♡

(伊藤)

っくう…まだ、まだよ…
はあ、はあ、はあ…っああん！？あ！いやああん！

(北川)

ほら！ほら！ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

(伊藤)

ああ！ああん！やだ！やだやだ！ひゃ、ああん！

(北川)

クリでクリを擦り合う♡ほらっ♡ほらっ♡
強いクリが♡弱いクリを♡追い込んで♡えいっ♡えいっ♡

(伊藤)

はあ！はあ！はあ！ひゃあん！むりい！

やん！あん！ああん！だめ！だめ！ひゃあん！もう！
イっちゃら…！

（北川）

イっちゃらの？いいわよ♡圧倒的な、女のレズテクに、
沈みなさい♡ほら！ほらほらほら…ほらぁ！

（伊藤）

やん！だめ！だめだって…！うそ…やだ…アタシ…もう
…だめ…だめだめ…イク…イク…イクイクイク
やああああ～～～♡♡♡
っあああん！あっん！やあん！ああん！
っくら！うらっ！んら！んんっ！

（北川）

あは♡あっはははははあ♡
…はあ♡はあ♡はあ♡はあ♡
すっごい痙攣♡はあ♡はあ♡
いっぱい潮出して…顔も真っ赤♡はあ♡はあ♡

（伊藤）

はあ！はあ！はあ！はあ！
はあ…はあ…はあ…はあ…

（北川）

まだやめてなんてあげないわよ♡
女はね、もっと、もっと高いところまで登り詰めることが
できるの♡
ほら♡ほら♡ふっ！ふっ！

（伊藤）

はあ…はあ…はあ…はあ…ええ…！
ちょっと…だめえ…はあ…はあ…もう、むり…っ！あっ
…！？っあああん！？はあっ！はああっ！

（北川）

ふっ！ふっ！ふっ！ふっ！

もっと！もっとよ！伊藤さんの！女の！限界のその先！こじ開けて、あげる！

（伊藤）

やああ！！やああん！！おっ！？おっ！？
だめ…イってる…！はぁっ！はぁっ！はぁっ！はぁっ！や、
あ、ぁっ！イってる！イってるからあ！

（北川）

ふうっ！イケ…！ふう！イケっ…！更に、強い波…イッ
けえええ♡♡♡ぐちよぐちよぐちよぐちよぐちよぐちよ…！

（伊藤）

これ以上！らめ！せんせっ！あ"ぁっ！アタシ！おかし
く！なる、うあああああああ～～～つつ！！
っあお"お"おっ…！お"お"お"っ…！
っぐうう…！うぐうう…！
ふううう…！ふううう…！
ぎゅうう…！ぐうん…！
ふー…！ふー…！ふー…！ふー…！

（北川）

はぁっ♡はぁっ♡はぁっ♡
はぁっ♡はぁっ♡はぁっ♡
ああ…♡すごい…♡すごいわ伊藤さん…♡
こんな、無様な深イキ…♡はぁ♡はぁ♡
なかなか…できない、わよ…♡はぁ…はぁ…♡

（伊藤）

つつう…ふー、ふー…
つつう…ふー、ふー…
つつう…ふー、ふー…
つつう…ふー、ふー…

（北川）

はぁ…はぁ…♡はぁ…はぁ…♡
はぁ…はぁ…♡はぁ…はぁ…♡
ふふふっ♡伊藤さんの濃い負け潮が…♡

そんなにマッパを濡らしてしまって…
いけない子♡明日までに乾くのかしら？くすっ♡

(伊藤)

おおお…っ おおおっ…
おお…っ ふう…ふううう…♡

(北川)

よく分かったでしょう？
女同士の真のセックス…♡女の真の快楽…♡
そして…先生との圧倒的な実力の差を♡

(伊藤)

ふう…ふう…ふう…ふう…
はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…
ま…だぁ…

(北川)

ん？どうしたの？

(伊藤)

まだ…はぁ…やるの…はぁ、はぁ…
その…体を…はぁ…アタシの…手で…
はぁ、はぁ、墮とす…までえ…

(北川)

っははは♡そう♡
立派ね♡これだけぐちゃぐちゃにされて、
まだ勝つつもりでいるなんて♡

いよいよね…特別授業のまとめよ…
伊藤さんのその意地…女の闘争心はどこで潰(つい)える
のか…先生が教えてあげる♡

■09 シックスナイツ→まんぐり返し「女から×スに墮と
されて…完全敗北…♡」

(伊藤)

頭がチカチカして、今にも意識が飛びそう。
強く、深くイキすぎて。体に力が入らない。
震えるアタシの体。北川先生に…目の前の女に…このア
タシが…勝てない…！
こんなはずじゃなかったのに。
ふー、ふー、と、なるべくたくさんの酸素を体に取り入
れる。
そして、もう壊れかけのアタシの女の闘争心を、なんと
か奮い立たせる。

（北川）

伊藤さん？どうしたの？
もう動けないなら、負けってことでいいのかしら？

（伊藤）

ふー、ふー…
そんな…はず…ないでしょ…！
アタシは、校内で、一番強い、レズなんだから…！
先生なんかに…負けない…！

あと一度。あと一度だけ、北川先生をイかせてみせる。
それで先生が堕ちてくれれば、というのがアタシに残さ
れた僅かな希望。
でも、そうでなければ、先生はアタシをまたぐちゃぐ
ちゃにイかせてくるだろう。
そうなってしまったらアタシはそこで、もう…

（北川）

くすっ♡そう♡じゃあ、もう一回、貝合わせで…

（伊藤）

させない…！

（北川）

ひゃん♡押し倒されちゃった♡まだそんな体力が残ってた
の？
でも、睨む目も虚(うつろ)になってる…♡

最後の抵抗ってところかしら♡

(伊藤)

黙って…！もう一度、クリ舌で舐めながら、乳首コリコリしてやる！

じゅる！じゅるるる…こり…こりこり…

じゅるる！じゅじゅるるる…くりゅくりゅ…くりゅくりゅ…

(北川)

んう…♡んんっ…♡やん…♡んっ、ああん♡

くすっ♡良いじゃない♡今の伊藤さんにはそれが最適解かしら♡ああん♡

でも、そんなテクじゃあ…まだ、まだ…♡

もう一度、指でクリの付け根をいじめてあげるわ♡くり…くり♡くりゅ…くりゅくりゅ…♡くり…くり♡

(伊藤)

ああっ！ああん！っ、くうん！ううっ！

じゅじゅるる！れるれる、れる…こりこりゅ…こりこり…こり！

(北川)

っふっふ♡やん♡それ、いい感じよ♡あん♡やん♡

(伊藤)

その、余裕も…すぐに…消してやる！

じゅじゅるるるる！じゅる！じゅ！じゅ！じゅじゅずずるる！こりこり！こりゅこりゅ！じゅるるる！じゅる！

(北川)

う、ん…んん…！はあ♡すごい…♡あ、やん！

ちょっと…効くぅ♡ふ、ふっふ♡やあん！あん！あ、ああん！伊藤さんの舌、しつこくて、なかなか…いいわ…♡それじゃ、これは、どう！？

ぐちゅ！こり、こり…とん、とんとん♡

(伊藤)

あ！やあああ！？だめ！そこ、ああ！うううん！

(北川)

グリの付け根と、Gスポットの同時攻め♡

ぐちゅ！ぐちゅ！こり、こりこりゅ…とん、とん、とん♡

(伊藤)

あ！あん！ああん！ああん！や、ば…！それえ…あ、ああん！

じゅ！じゅじゅる！こり！こりこり！じゅる！じゅるるる！
じゅる！

(北川)

ああん！必死♡もう、後がないのね♡いやあん♡う、ん
んっ！

ぐちゅぐちゅ！こりこり！とんとんとん！ぐちゅ！ぐ
ちゅ！こりゅこりゅ♡とん！とんとん！

(伊藤)

はああ！はああ！やあん！あっ！あん！うううん！っくう！
まだ！まだなんだから！

こりゅこりゅ！こりゅこりゅ！

(北川)

ひゃあ！乳首を両方指で…ひ、やああん！
う、う、ううんん…！

(伊藤)

こりゅこりゅ！じゅるるる！じゅる！こりこりゅこりゅ！
じゅじゅるる！じゅる！こりゅこりゅ！じゅるるる！

(北川)

ああああ…！伊藤さん♡ううん！それ♡ちょっとヤバいか
も…！あ、あああああん！効っくう…！

(伊藤)

墮ちろ…！じゅるじゅる…！

墮ちろ…！ごりゅごりゅ…！
イキ、墮ちなさい…！じゅじゅるるるる！れろれろ！ご
りゅごりゅ！ごりゅごりゅ！

（北川）

っ！あああん！やん！
っ！あん！あん！はあ！はあ！
っ、くう…！うっ…！あ、あ、あ、あ、あ！やだ！激し
…！だめ…よ…！あっあっ♡あっあっ♡

（伊藤）

ほら！じゅるるる！ごりごり！イけ！
じゅるるる！じゅる！ごりゅごりゅ！イけ！
じゅるるるる！いつけえ…！

（北川）

あ、あん！しまっ…あ、あ、あ、ああん！あ！だめ！あ
ん！あ、ああん！
くっ！うう、うううん！はあ！はあ！だ、だめえ！はあ！
はあ！
くっ…あっ…あ、あ、あ…！はあ、はあ！だめ…！
っ！そこ、先生…！うそ…！イ…いつちゃう…！

（伊藤）

じゅじゅじゅるるる！じゅるる！ごりゅごりゅごりゅ！じゅ
るるるるる！いつけえ〜〜〜〜！
じゅるるるるるる…じゅるっ！

（北川）

だめ！イく！だめ、よ…！あ、あ、あ…！
イ、くううう…ああああああ〜〜〜！
っあああん！うううんっ！
っくううっ！ああああんっ！
はあ…！はあ…！はあ…！はあ…！
はあ…！はあ…！はあ…！はあ…！

(伊藤)

じゅるっ…！はあっ！はあっ！はあっ！せんせ…っ
はあっ…！はあっ…！これで…はあ、はあ…
堕ちた…でしょ…！はあ、はあ…！

(北川)

はあ…はあ…はあ…はあ…
ああ…伊藤さあん…はあ…はあ…先生…もう…♡

許さないわよ…！

(伊藤)

ひゃああん！？

(北川)

くすっ♡
まんぐり返し♡無様なポーズでしょう？
この体勢で…とどめさしてあげる！

(伊藤)

はあ…はあ…はあ…
いや…だめ…もう…アタシ…

(北川)

ぐちょ！ぐちょ！くり！くり！とんとんとん！
くり！くり！ぐちょぐちょぐちょ！

(伊藤)

ひゃああああ！あん！あん！そんな！うそよ！ひゃああ
あああん！

(北川)

くすっ♡可愛い♡もう完全に戦意喪失ね♡
くりくり！ぐちゅぐちゅ！とんとんとん！
くりくり！ぐちゅぐちゅ！とんとんとん！
くりくり！ぐちゅぐちゅ！とんとんとん！

(伊藤)

はぁ…！はぁ…！はぁ…っ！はぁ…っ！
ああ！ああ！やめて！やめてよ！お願い…あぁん！
やだ！だめなの！だめだめだめ！そ、こ、はぁ！弱いと
こだからああ！！あぁん！ひゃぁん！

(北川)

あはっ♡すごい締め付け♡
伊藤さんの最後の絶頂が…♡もう、すぐそこまで…♡
くりくり！ぐちゅぐちゅ！
くりくり！ぐちゅぐちゅ！

(伊藤)

うっん！う…ううっんっ…！く、うん…っ！
はぁ！はぁ！や…やだぁ…やだぁっ！
ああぁ！あぁん！あぁん！
やん！あん！ああぁん！

(北川)

ほら♡ほら…ほら♡ほらぁ…！

(伊藤)

く、うっ…負け…たく…ない…っ！のに…っ！

(北川)

さぁん…
にい…

(伊藤)

あぁん！あぁん！
もう！だめ！イく！

(北川)

いちい…

(伊藤)

あぁ！イく、イっちゃ…う…っ

(北川)
…ストップ♡

(伊藤)
はあっ！はあっ！…っ！？…っ！？
はあ…！はあ…！
はあ…！はあ…！

(北川)
どうしたの？そんな目で見て？
負けたくないとか言ってたのに…
もしかして、イきたかったの…？

(伊藤)
そ、んな訳…はあ、はあ…ないんだからあ！

え…えいつ…！

っ！？

(北川)
くすくすっ♡
もう、体勢を変える力もないようね♡
ぐちゅぐちゅ！くりくり！とん！とん！とん！

(伊藤)
ふーっふーっ…
そんな…
ああん！？やだ！やだ！だめ！あん！あん！ああん！

(北川)
伊藤さんの弱点は、もう完全に私の手中にあるの♡
いつだってイかせられるんだってこと♡

(伊藤)
はあ！はあ！はあ！あああ…っ！もう！むり！

はぁ！ あぁん！ そんな…だめ…もう…！

(北川)

3…

2…

1…

(伊藤)

はぁぁんっ！ いく！

いくからぁ！ あぁん！

いく…！ いくいくいく…うう！

(北川)

ストップ♡

くすくすくす♡

ほらほら♡イきたいんでしょう？

伊藤さんの体が悲鳴をあげてる♡

(伊藤)

っ！？

はぁ！ はぁ！

ぁぁ…！ ぁぁぁ…！ くっ…！ ううう…！

ふうう…！ ううう…っ！ ふうう…！

(北川)

でも、だ～め♡

イかせてほしいなら、約束しなさい。

しっかり勉強をして、赤点をとらないって！

(伊藤)

はぁ…はぁ！

はぁ…はぁ！ はぁ…はぁ！

っくう…！ はぁ…！ はぁ…はぁ…はぁ…！

っ…！ そんな約束、するくらいならぁ…はぁ、はぁ…

先生をイキ堕とすに決まってるじゃない！

(北川)

…だめじゃない♡

(伊藤)

い、やぁん！ぁん！ぁん！

(北川)

伊藤さんはぁ♡もう攻め返せないの♡

体は完全に私に負けたがってる♡

負けたっていいのよ？

分かってるんでしょ？もう勝てないんだってこと♡

(伊藤)

ぁん！やん！はぁ！はぁ！

いや！ぁぁ！ぁぁん！はぁ！はぁ！

ぁん！ぁん！ぁん！ぁ、ぁぁぁん！…ううっ

はぁ！はぁ！ぁぁ！っくうっ…！

そんな…はず…ない…！

(北川)

いい加減認めたら？っほら♡ほらっ♡

それでも無い限り…この、もどかしい快感が…ずっと解放
されないのよ？

(伊藤)

っ！？ぁ！ぁぁぁん！！

うう…！っくう…！はぁ…！ぁぁ…！はぁ…！ぁぁぁ…！

私、はぁ…！イカ、ないし！くうんっ…！勉強も！しな
い！…先生に！勝つんだから！

(北川)

じゃぁ、勝ってみなさいよ！ぐちゅぐちゅぐちゅ！ぐちゅ
ぐちゅぐちゅ！

(伊藤)

いやぁぁぁぁ！あっ！あっ！あっ！ぁぁぁ…っ！

(北川)

3…

2…

1…

(伊藤)

いや！イク！

イク！イク！

イク！イクいくいくいく…うう…！

(北川)

ストップ。

(伊藤)

っはぁ…！はぁ！

やだぁぁぁ！もう、イかせて！イきたいの！

せんせっ、イかせてよぉ！

(北川)

くすっ♡いいの？次イったら、すごいのが来て、伊藤さんは絶対に堕ちるわよ？

(伊藤)

いいから！もう！イきたいの！さっきからずっと！

お願い！負けでいいからぁ！アタシのおまんこ、めちゃくちゃにしてよぉ！

(北川)

勉強は？

(伊藤)

っ…！

〜〜っ！！

…する…！するから！

授業も！テストも！頑張るから！だからお願い…っ！

(北川)

わかりました。立派です。
じゃあ…お望み通り…

イかせてあげる！
ぐちゅ！ぐちゅぐちゅぐちゅ！
くり！くりくり！くりくりくり！

(伊藤)

あああっ…！！
ひゃん！ひゃんっ！ひゃ、あああん！
やあん！イくら♡イくら♡イツ…くうう…

(北川)

これでとどめよ…♡
さあん…♡ぐちゅ♡ぐちゅ♡
にい…♡くり♡くり♡
いいち…♡ぐちゅ♡ぐちゅ♡ぐちゅ♡

(伊藤)

やああ！やああん！
ああ！あん！あん！あん！
はあ！はあ！イく！イくイくイくイく…！
い…い…いっくううう♡♡あああああああ～～～♡♡♡

(北川)

…0！ぜろ！ゼロっ！

(伊藤)

あっあ”ああああんっ！ひゃあ”ああああんっ！
あ”あああん！あ”あああんっ！
ぐうううっ！うぐううううっ！
うううんっ！ううん！っくう！

(北川)

まだまだよ♡痙攣に合わせて、G スポとクリの付け根を
刺激してあげる！
ほら！ほら！ぐちゅ！ぐちゅ！ぐりゅ！ぐりゅ！

(伊藤)

ぐうっ…！ううっ…！はーっ！はーっ！はーっ！はーっ！
お"っ！お"あ"あ"ああんっ！っああ"ああん！や"
だあああっ！はあ"あああっ！はあ！はあ！

(北川)

こうすると、長い時間、強い絶頂が続くのよ！

(伊藤)

っぐうっ！ううっ！ぐうっ！ううっ！

(北川)

すごい♡ずっと焦らされてた分もあって、全然絶頂が収まらないわ♡
この女の体！完全に堕ちるまで！弱点刺激して！あげ
るっ！ほら！ほらあっ！

(伊藤)

あ"ううっ！あ"ああっ！はー！はー！ら"め"っ！ら"
め"ええっ！
あ"あ"あん！だめ"え！ごわ"れるうっ！ごわ"れ"じゃう
"うう…！あ"！あ"！ううううん！

(北川)

まだイキ続けてる♡
伊藤さん♡どこまで底なしの性欲をもってるの♡
ほら、もっと、もっと！啼きなさい！イきなさい！
くりっ！くりゅ！くりゅ！

(伊藤)

ひゃあん！ああん！はあ！はあ！
ああ！あああ！はー！はー！ああ！あああ！はー！はー！
やだ！やだ！だめえ！だめえ！ひゃん！ひゃん！ひゃ、
ああん！

(北川)

伊藤さんのえっちな体が！意地が！完全に崩れるまで！

女子校生の性欲が！底を！つくまでっ！墮とし！つくして
あげる！
ほらほらほらほら！
これが！女の弱点！女の性欲の限界！×スの…本能よ！
ぐちゅぐちゅぐちゅ！くり、くり！

（伊藤）

ああ…ああ…ああ…ああっ！だめえ…もう…これ以上…！
だめなのぉ…！やだぁ…やだぁ…！っぐううう！とめて！
とめてえ！おねがい！
ひゃん！ひゃん！ひゃああん！
あっ…！ああ…っ！あああっ！ああ“あ”あ“あ”あ“あ”っ！！
…っ！

（北川）

強く！長く！深い絶頂で！伊藤さんの女の尊厳を！ゼー
んぶ！搾り取ってあげる！
ほら！ほら！ほらほらほらほらぁ！

（伊藤）

んんうっ！んっ！もうむり！むりむり！やだやだやだや
だ！すごいの！きちゃう！イぐっ！イぐう…！

イ…！イ…っ！イイイいいいイ”っ、ぐづづううううう
…！！！！

（北川）

ぜろ！ぜろぉ！ぜろぉおっっ！！

（伊藤）

お”お”おっ…！？おおおっ…！？
あ”おおっ！あ”おおっ！
お”…おおお…っ！おおお…っ！

お…あ…♡ぐうううううううう～～……♡

（北川）

はぁ、はぁ…ようやく…イキ果てたのね…♡

女から×スに墮とされて…完全敗北…♡
思い知ったでしょ？大人の女の強さを♡
伊藤さんは、目の前の女に負けて…
×スになってしまったのよ…♡

（伊藤）

っ……♡っ……♡っ……♡つつら…♡
っ……♡っ……♡っ……♡つつら…♡

ふーっ……♡ふーっ……♡っ……♡つつら…♡
ふーっ……♡ふーっ……♡っ……♡つつら…♡

■ 10 ×ス墮ち後、リベソジに心を燃やす「ズタズタに
され尽くした女の闘争心…」

（北川）

明日の朝までは誰も来ないだろうから…鍵は開けておく
わ。
下着と制服はそこに畳んでおいたから、
動けるようになったら、着替えて帰りなさい。

それじゃ、さっきしてくれた約束、楽しみにしてるわ♡
新年度からは頑張ってるね♡伊藤さん♡

（伊藤）

ふーっ…♡ふーっ…♡ふーっ…♡ふーっ…♡
ふーっ…♡ふーっ…♡ふーっ…♡ふーっ…♡

北川先生が去った後も、しばらくアタシは裸のまま呆然と
横たわり、動くことができなかった。
最後の絶頂でズタズタにされ尽くしたアタシの女の闘争
心…自尊心…
マットにはアタシの汗や愛液、潮…様々な体液のシミが
濃く残り、
暗い体育倉庫の中はもはや女の潮の香りで充満していて、
それがアタシの悔しさをより強くさせていた。

アタシは強い女のはずだったのに…負けた…。
北川先生はアタシより遥かに強かった。
自信満々でアタシから挑んだこの勝負。
惨敗。惨めな負け。
そんなこと…あってはならない！

ふーっ…ふーっ…

っっ…！勉強…してあげるわよ…えっちの、勉強をね…！
そして今度はそはめちゃくちゃにイキ堕として、
アタシの方が強い女だってこと…
思い知らせてあげるんだから…！